

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名 国富造成水利施設ストックマネジメント推進事業
事業者名 壬生川上流地区幹線水路権等保全監視隊

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	業務別録(1)
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務	

事業名 国富造成水利施設ストックマネジメント推進事業
事業者名 壬生山友達地図幹綱水路権等保全監討委員会

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業				
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務				
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	单 価	金 額
S02115	*** S 単一 1号 *** 技師 (A) 技師 (A)		人	57,000	歩A・単A
S02115	*** S 単一 2号 *** 技師 (B) 技師 (B)		人	47,200	歩A・単A
S02115	*** S 単一 3号 *** 技術員 技術員		人	33,600	歩A・単A
S02115	*** S 単一 4号 *** 技師 (C) 技師 (C)		人	38,400	歩A・単A
S02116	*** S 単一 5号 *** 試掘調査 試掘調査		箇所	370,000	歩A・単A
S63007	*** S 単一 6号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	344,500	歩A・単A
S63007	*** S 単一 7号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	162,600	歩A・単A
S63007	*** S 単一 8号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	258,000	歩A・単A
S63007	*** S 単一 9号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	42,780	歩A・単A
S63007	*** S 単一 10号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	129,760	歩A・単A
S63007	*** S 単一 11号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	28,520	歩A・単A
S63007	*** S 単一 12号 *** 設計労務(直接人件費外業) 設計労務(直接人件費外業)		式	133,840	歩A・単A
S65002	*** S 単一 13号 *** 近接目視				
S65003	*** S 単一 14号 *** コンクリート強度推定調査 コンクリート強度推定調査		式	466,847	歩A・単A
S65009	*** S 単一 15号 *** 中性化深さ試験(ドリル法) 中性化深さ試験(ドリル法)		測点	3,960	歩A・単A
X63007	*** X 単一 1号 *** 現地踏査 旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km≤L (100km以上)		式	112,350	歩A・単A
X63007	*** X 単一 2号 *** 現地調査 旅費交通費 (機能診断外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 1.00日, 2日, 4時間, なし, 100km≤L (100km以上)		式	1,176,939	歩A・単A
T00001	*** T 単一 1号 *** 現地踏査				
T00002	*** T 単一 2号 *** 漏水量調査		km	35,208	歩A・単A
T00003	保圧試験 *** T 単一 3号 *** 概略診断調査【バルブ類】		箇所	211,380	歩A・単A
T00004	*** T 単一 4号 *** 概略診断調査【水管橋】		箇所	31,734	歩A・単A

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1,000 人
	単 価				57,000	
	*** S 単一 2号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1,000 人
	単 価				47,200	
	*** S 単一 3号 ***					
S02115	技術員		人		1,000	歩A 当たり算出
	技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04007 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04007	技術員	1,000	人	33,600	33,600	
	合 計				33,600	算出数量 1,000 人
	単 価				33,600	
	*** S 単一 4号 ***					
S02115	技師 (C)		人		1,000	歩A 当たり算出
	技師 (C)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04006 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C)	1,000	人	38,400	38,400	
	合 計				38,400	算出数量 1,000 人
	単 価				38,400	
	*** S 単一 5号 ***					
S02116	試掘調査		箇所		1,000	歩A 各単位 当たり算出
	試掘調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 資材区分 2) 地域資材単価コード (P)	地域資材 (P コード) P96001		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 地区資材単価コード (J) 4) 施設機械資材単価コード (K)			深夜時間:0.0		
P96001	試掘調査	1,000	箇所	370,000	370,000	
	合 計				370,000	算出数量 1,000 各単位

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	单 価				370,000	
	*** S 单一 6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式			歩A 1,000 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.50人				
	5)技師Bの人数	2.50人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	2.50人				
R04004	技師 (A) 外業	2.500	人	57,000	142,500	
R04005	技師 (B) 外業	2.500	人	47,200	118,000	
R04007	技術員 外業	2.500	人	33,600	84,000	
	合 計				344,500	算出数量 1.000 式
	单 価		式		344,500	
	*** S 单一 7号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式			歩A 1,000 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				162,600	算出数量 1.000 式
	单 価		式		162,600	
	*** S 单一 8号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式			歩A 1,000 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04004	技師 (A) 外業	2.000	人	57,000	114,000	
R04006	技師 (C) 外業	2.000	人	38,400	76,800	
R04007	技術員 外業	2.000	人	33,600	67,200	
	合 計				258,000	算出数量 1.000 式
	单 価		式		258,000	
	*** S 单一 9号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式			歩A 1,000 式当たり算出

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.30人				
	5)技師Bの人数	0.30人				
	6)技師Cの人数	0.30人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.300	人	57,000	17,100	
R04005	技師 (B) 外業	0.300	人	47,200	14,160	
R04006	技師 (C) 外業	0.300	人	38,400	11,520	
	合 計				42,780	算出数量 1.000 式
	単 価		式		42,780	
	*** S 単一 10号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.20人				
	5)技師Bの人数	1.30人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	1.200	人	57,000	68,400	
R04005	技師 (B) 外業	1.300	人	47,200	61,360	
	合 計				129,760	算出数量 1.000 式
	単 価		式		129,760	
	*** S 単一 11号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.20人				
	5)技師Bの人数	0.20人				
	6)技師Cの人数	0.20人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A) 外業	0.200	人	57,000	11,400	
R04005	技師 (B) 外業	0.200	人	47,200	9,440	
R04006	技師 (C) 外業	0.200	人	38,400	7,680	
	合 計				28,520	算出数量 1.000 式
	単 価		式		28,520	
	*** S 単一 12号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.70人				
	6)技師Cの人数	1.40人				
	7)技術員の人数	1.40人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04005	技師 (B) 外業	0.700	人	47,200	33,040	
R04006	技師 (C) 外業	1.400	人	38,400	53,760	
R04007	技術員 外業	1.400	人	33,600	47,040	
	合 計				133,840	算出数量 1.000 式
	单 価		式		133,840	
	*** S 单一 13号 ***					
S65002	近接目視		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	近接目視 点の構造物, 2,236m ²			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1) 対象構造物 2) 作業対象面積	点の構造物 2,236m ²		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 3.0%	0.030		119,200	3,576	
Y00004	材料費 2.0%	0.020		119,200	2,384	
	合 計				125,160	算出数量 1.000 式
	单 価		式		466,847	
	*** S 单一 14号 ***					
S65003	コンクリート強度推定調査		測点		1.000 日	歩A 当たり算出
	コンクリート強度推定調査			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1) 強度推定調査	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
R04007	技術員 外業	1.000	人	33,600	33,600	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		72,000	7,200	
	合 計				79,200	算出数量 20.000 測点
	单 価		測点		3,960	
	*** S 单一 15号 ***					
S65009	中性化深さ試験(ドリル法)		箇所		1.000 日	歩A 当たり算出
	中性化深さ試験(ドリル法)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1) 中性化深さ試験(ドリル法)	計上する		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬季補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
R04006	技師 (C) 外業	1.000	人	38,400	38,400	
Y00004	機械経費 10.0%	0.100		85,600	8,560	
Y00004	材料費 5.0%	0.050		85,600	4,280	
	合 計				98,440	算出数量 12.000 断面
	单 価		断面		8,203	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X单一 1号 ***					
X63007	現地踏査		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費（機能診断外業宿泊用） 乙地、ライトバン、1.00日、2日、4時間、なし、100km≤L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金（税別） 4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	4,274円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別） 6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別） 8)往復移動日数	0円 1.00日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 4時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000人				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	0.000人 3.450人				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	3.450人 0.000人				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	3.450人 100km≤L（100km以上）				
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き		2,000	人	1,000	2,000
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き		2,000	人	1,000	2,000
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き		2,000	人	773	1,546
P54003	設計用技師（A）宿泊費 (乙地) 消費税抜き（6級相当）		1,000	人	8,909	8,909
P54004	設計用技師（B）宿泊費 (乙地) 消費税抜き（4級相当）		1,000	人	8,909	8,909
P54006	設計用技術員宿泊費 (乙地) 消費税抜き（2級相当）		1,000	人	7,090	7,090
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで		3,000	人	8,354	25,062
P54113	外業の滞在日額旅費3級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで		3,000	人	8,354	25,062
P54112	外業の滞在日額旅費2級相当以下 宿泊現地到着の翌日より29日目まで		3,000	人	6,736	20,208
P54301	高速道路等料金 消費税抜き		1,000	式	4,274	4,274
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L		2,000	日	1,960	3,920
P34001	ガソリン J I S 2号 レギュラースタンド		21.600	L	156	3,370
	合 計				112,350	算出数量 1,000 式
	单 価		式		112,350	
	*** X单一 2号 ***					
X63007	現地調査		式		1,000	歩A 当たり算出
	旅費交通費（機能診断外業宿泊用） 乙地、ライトバン、1.00日、2日、4時間、なし、100km≤L（100km以上）			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)宿泊地 2)交通機関区分	乙地 ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)高速道路往復料金（税別） 4)鉄道往復料金[全員分合算]（税別）	4,274円 0円		深夜時間:0.0		
	5)バス往復料金[全員分合算]（税別） 6)船舶往復料金[全員分合算]（税別）	0円 0円				
	7)航空往復料金[全員分合算]（税別） 8)往復移動日数	0円 1.00日				
	9)ライトバン使用日数 10)時間区分	2日 4時間				
	11)補正区分 12)技師長外業日数	なし 0.000人				
	13)主任技師外業日数 14)技師A外業日数	0.000人 32.320人				
	15)技師B外業日数 16)技師C外業日数	9.040人 35.910人				
	17)技術員外業日数 18)往復移動距離区分	32.330人 100km≤L（100km以上）				
P54203	設計用技師（A）日当 消費税抜き		2,000	人	1,000	2,000
P54204	設計用技師（B）日当 消費税抜き		2,000	人	1,000	2,000
P54205	設計用技師（C）日当 消費税抜き		2,000	人	1,000	2,000
P54206	設計用技術員日当 消費税抜き		2,000	人	773	1,546

其她單面表 - 單面期八 (八)

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T单一 1号 ***					
T00001	現地踏査		km		10,000 km	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	344,500	344,500	S单 6号
Y00004	雑品	0.022		344,500	7,579	
	合 計				352,079	算出数量 10,000 km
	單 価		km		35,208	
	*** T单一 2号 ***					
T00002	漏水量調査		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	162,600	162,600	S单 7号
Y00004	雑品	0.300		162,600	48,780	
	合 計				211,380	算出数量 1,000 箇所
	單 価		箇所		211,380	
	*** T单一 3号 ***					
T00003	概略診断調査【バルブ類】		箇所		10,000 箇所	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	258,000	258,000	S单 8号
Y00004	雑品	0.230		258,000	59,340	
	合 計				317,340	算出数量 10,000 箇所
	單 価		箇所		31,734	
	*** T单一 4号 ***					
T00004	概略診断調査【水管橋】		箇所		1,000 箇所	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	42,780	42,780	S单 9号
Y00004	雑品	0.230		42,780	9,839	
	合 計				52,619	算出数量 1,000 箇所
	單 価		箇所		52,619	
	*** T单一 5号 ***					
T00005	概略診断調査【小型ゲート】		箇所		10,000 箇所	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	129,760	129,760	S单 10号
	合 計				129,760	算出数量 10,000 箇所
	單 価		箇所		12,976	
	*** T单一 6号 ***					
T00006	管内調査		m		10,000 m	歩A 当たり算出
S63007	設計労務(直接人件費外業)	1.000	式	28,520	28,520	S单 11号

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	特別単価表 単価別A (21)
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	業務別録(1)
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業	実務別題 (2)
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務	

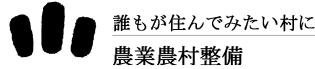
事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S63003	管理水準の設定		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)技術長の人数	0.00人				
	3)主任技師の人数	1.85人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.33人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.850	人	64,800	119,880	
R04004	技師 (A)	3.330	人	57,000	189,810	
	合 計				309,690	算出数量 1.000 式
	单 価		式		309,690	
	*** S 単一 2号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師	0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900	
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	单 価		回		85,260	
	*** S 単一 3号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)打合せ	中間		深夜時間:0.0		
	3)設計用主任技師人数	0.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900	
R04005	技師 (B)	0.700	人	47,200	33,040	
	合 計				72,940	算出数量 1.000 回
	单 価		回		72,940	
	*** S 単一 4号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種,着手前・最終,通勤により打合せ,,,一般交通機関,0日,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	L < 100km (100km未満)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
業務名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円 1,562円				
	15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数	0円 0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2.000	人	1,562	3,124
	合 計				3,124	算出数量 1.000 回
	单 価			回	3,124	
	*** S 单一 5号 ***					
S63011	打合せ（設計旅費・交通費） 打合せ（設計旅費・交通費） 一般工種、中間、通勤により打合せ、一般交通機関、0日、L < 100km		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	(100km未満)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	0人 1人				
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	1人 0人				
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日				
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関				
	13)高速道路往復料金（税別） 14)鉄道往復1人当料金（税別）	0円 1,562円				
	15)バス往復1人当料金（税別） 16)船舶往復1人当料金（税別）	0円 0円				
	17)航空往復1人当料金（税別） 18)ライトバン使用日数	0円 0日				
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		2.000	人	1,562	3,124
	合 計				3,124	算出数量 1.000 回
	单 価			回	3,124	
	*** S 单一 6号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成 電子納品版業務報告書作成 1, A - 4, 800, 10cm, 0		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)報告書部数(部) 2)規格区分	1.000 A - 4		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	3)枚数区分(枚) 4)厚さ区分	800 10cm		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	5)CD-R枚数(枚)	0.000		深夜時間:0.0		
P43496	報告書焼付代（コピー） A - 4 以下 800 枚		1.000	部	10,200	10,200
P43544	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)		1.000	冊	789	789
P43602	C D - R C D - R (記録面色素フタロシアニン) 700MB		0.000	枚	47	0
	合 計				10,989	算出数量 1.000 式
	单 価			式	10,989	
	*** S 单一 7号 ***					
S65501	機能診断 線の構造物 機能診断 線の構造物 13.810km バイオライン		式		1.000 式	歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

施工単価表 単価表A (3 / 3)



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務（試掘調査分）

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
工事名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務（試掘調査分）

事業名
主導者
主導山本泰輔(株式会社スマートシステムズ代表取締役社長)

事業名
主導者
主導山口県産地元経営者(野坂義秀)

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業			
工事名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務（試掘調査分）			
項目名				
工事価格		数量	単位	金額
・工事原価				370,000
				300,000
純工事費				232,000
・・直接工事費				204,000
・・・直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		204,000
・・・直接工事費（仮設工）	1.000	式		0
・・間接工事費				96,000
・・・共通仮設費				28,000
・・・・事業損失防止施設費	1.000	式		0
・・・・運搬費～營繕費等				
204,000 × ((13.780*1.000)*1.000*1.000*1.000)				28,000
・・・・運搬費	1.000	式		0
・・・・準備費	1.000	式		0
・・・・安全費	1.000	式		0
・・・・役務費	1.000	式		0
・・・・技術管理費	1.000	式		0
・・・・營繕費等	1.000	式		0
・・・・現場環境改善費				0
・・・・現場環境改善費（率計上）				
204,000 × (0.000)				0
・・・・現場環境改善費（積上）	1.000	式		0
・・・現場管理費				68,000
・・・・現場管理費（率計上）				
232,000 × ((29.270*1.000)*1.000*1.000*1.000+0.000+0.000-0.000)				68,000
・・・・現場管理費（積上）	1.000	式		0
・・・・現場管理費（一般管理費率対象外）	1.000	式		0
・・・工期延長等に伴う現場維持等の費用	1.000	式		0
・・官賃額（直工）	1.000	式		0
・・官賃額（事業損失防止）	1.000	式		0
・・官賃額（直工・事業損失防止除く）	1.000	式		0
・一般管理費等				
300,000 × (23.570*1.000+0.04)				70,000
・一括計上価格	1.000	式		0
支給品費				0
支給品費（直工・事業損失防止）				0
支給品費（直工）				0
処分費等（直接工事費の内数）				0
処分費（準備費の内数）				0
処分費（事業損失防止施設費内数）				0
処分費等（率対象外）				0

主な会社名 (例) 1) 2) 3)

事業名 国省造成水利施設ストックマネジメント推進事業
主事者 古川山久泰丞延岡修造(原今井辰時著述)(駐場監査官)

中間一覧表(1/1)
事業名 国省造成水利施設ストックマネジメント推進事業
主事者 古河市山久保地区幹線排水整備事業(保全・検討業務)(駐場監査委員会)

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業					
工事名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務（試掘調査分）					
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 单一 1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, タンパ(Ⅰ)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	1) 土質区分 2) 作業区分 3) 施工区分 4) 締固め区分	粘性土・礫質土 埋戻 まき出し タンパ(Ⅰ)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
R01002	特殊作業員	0.340	人	24,100	8,194	
R01003	普通作業員	0.850	人	20,300	17,255	
Y00004	諸雑費 10%	0.100		8,194	819	
	合 計				26,268	算出数量 10.000 m3
	单 価		m3		2,627	
	*** S 单一 2号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土, 埋戻, まき出し, 振動コンパクタ(Ⅰ)		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	1) 土質区分 2) 作業区分 3) 施工区分 4) 締固め区分	粘性土・礫質土 埋戻 まき出し 振動コンパクタ(Ⅰ)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0	
R01002	特殊作業員	0.200	人	24,100	4,820	
R01003	普通作業員	0.850	人	20,300	17,255	
Y00004	諸雑費 10%	0.100		4,820	482	
	合 計				22,557	算出数量 10.000 m3
	单 価		m3		2,256	
	*** S 单一 3号 ***					
S07001	パイプライン基礎 砂・砂質土, 現場流用土, 山積0.28m3(平積0.20m3), 振動コンパクタ, 区分 I, あり, なし		m3		10,000 m3	歩A 当たり算出
	1) 基礎区分 2) 材料区分 3) パック規格 4) 締固め機械 5) 締固め区分 6) 単価0円区分(基礎材) 7) 長期割引単価区分(貨料機械)	砂・砂質土 現場流用土 山積0.28m3(平積0.20m3) 振動コンパクタ 区分 I あり なし		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R01001	土木一般世話役	0.250	人	28,400	7,100	
R01003	普通作業員	0.920	人	20,300	18,676	
R01002	特殊作業員	0.200	人	24,100	4,820	
Y00004	諸雑費 12%	0.120		4,820	578	
F08011	ハッカ油[クローラ型・～超低・排対型(～3次)] 山積0.28m3(平積0.20m3)	0.300	日	8,450	2,535	
P34029	軽油 ハットローリ給油	6.300	L	142	895	
R01021	運転手 (特殊)	0.190	人	24,300	4,617	
	合 計				39,221	算出数量 10.000 m3
	单 価		m3		3,922	
	*** S 单一 4号 ***					
SA0102	SP 積込(ルーズ) SP 積込(ルーズ) 土砂, 小規模(標準)		m3		1,000 m3	歩A 当たり算出
				時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 工事名	大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務（試掘調査分）	施工単価表	単価別A (2/2)
-----	-------------------------------	----------------------------	-------	------------

令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第1章 総 貝リ

(適用範囲)

第1-1条 令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業 大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条 本業務は、国営大野川上流土地改良事業で造成された幹線水路について機能診断及び機能保全計画作成を行うものである。

(場所)

第1-3条 本業務において対象とする施設の場所は、熊本県阿蘇郡産山村及び大分県竹田市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第1-4条 作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第1-16条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目a)～c)において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目d)において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第1-6条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(管理技術者)

第1-7条

- (1) 管理技術者は、共通仕様書第1-6条 第3項によるものとし、農業土木技術管理士、農業水利施設機能総合診断士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農業土木 建設－鋼構造及びコンクリート

	農業	農業農村工学、農業土木
	建設	鋼構造及びコンクリート
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木 鋼構造及び コンクリート	

(2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1－8条

担当技術者は、共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条

共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

(1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。

(2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1－10条

受注者は、共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条 設計の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業水利施設の機能保全の手引き	農林水産省農村振興局 整備部設計課	令和5年4月
2	農業水利施設の機能保全の手引き 「パイプライン」		平成28年8月
3	農業水利施設の長寿命化のための 手引き		平成27年11月

(設計条件)

第2－2条 本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、安全管理を含めた作業計画を作成して監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立ち入る場合は、事前に監督職員と打合せを行い、施設管理者との調整を実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。
- (5) 現地調査作業を行う場合は、労働安全衛生法等の諸法令を遵守して行うものとする。

(対象施設)

第2－3条 本業務で実施する機能診断調査の対象施設は、次のとおりである。なお、詳細については【別紙1】調査対象施設一覧表による。

- (1) 幹線水路

L=13.81km (管水路)

(参考図書)

第2－4条

本業務で参考にする図書は、共通仕様書第2-1条によるほか次表によるものとする。

番号	図書・資料名	発行	制定(改訂)年月
1	コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針-2022-	(社)日本コンクリート工学工	令和4年6月
2	コンクリート診断技術 '23		令和5年3月
3	コンクリート標準示方書（設計編）	(社)土木学会	令和5年3月
4	コンクリート標準示方書（施工編）		平成30年3月
5	コンクリート標準示方書（維持管理編）	農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室	平成30年10月
6	農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル（パイプライン編）（案）		平成29年4月

(貸与資料)

第2－5条 貸与資料は、次のとおりである。

分類	資料名	数量
現況関係資料	国営大野川上流農業水利事業 事業誌	1式
〃	国営大野川上流土地改良事業 施設管理図	1式
過年度業務成果物	令和4年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業大野川上流地区幹線水路機能診断調査業務報告書	1式
〃	令和5年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務報告書	1式

その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式
-----	------------------------	----

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-6条

第2-4条、第2-5条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、施設機能診断作業時点の最新版を用いることとし、改定された場合は、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査までに一括返納しなければならない。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙2】「現地調査作業内訳表」及び【別紙3】「機能診断作業項目内訳表」のとおりである。

作業項目	数量	備考
1. 現地調査	1式	
2. 機能診断	1式	
3. 機能保全計画の作成	1式	

(現地作業内容)

第3-2条

現地調査の詳細は次のとおりである。また、作業は施設管理者と調整の上で行う。

(1) 現地踏査

事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置、漏水調査区間を選定、検討する。

(2) 現地調査

現地踏査において決定した区間にて漏水調査（保圧試験）を行う。

また、対象構造物について、近接目視、定量計測、動作確認を行う。

(3) これらの調査結果は、農業水利ストック情報データベースの登録情報データ外部入出力機能（施設機械の一次診断結果にあたっては一次診断情報入力用Excelファイル）を利用して記録するものとし、記録した電子データは成果物に含むものとする。

(設計作業の留意点)

第3-3条

業務の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

(1) 試験試料採取及び破壊検査は構造物への影響が最小限となるよう配慮するとともに、監督職員と詳細な位置について打合せのうえ決定するものとする。

なお、採取後は、既存施設の機能を損なわないよう無収縮モルタル等により復旧を行うものとする。

(2) 現地調査及び室内試験において著しく機能が低下している施設を発見した場合は、遅滞なく監督職員へ報告するものとする。

(3) 現地踏査等施設の状況確認においては、できる限り施設管理者の同行により意見・助言を受

けて実施するものとする。

- (4) 対策内容の検討にあたっては、当該施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (5) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (6) 第2-4条、第2-5条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (7) 機能保全対策シナリオの検討にあたっては、最新の新素材、新工法などの技術情報の収集に努めた上で、比較検討を行う。新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）については、
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (8) 対象施設、関連施設及び設備が機能診断を完了している場合は、同成果の内容を確認とともに十分に活用し効率的な作業を行う。
- (9) 対策内容の検討にあたっては、事業への適用性や施設管理者の管理体制等を総合的に検討する。
- (10) 数量計算にあたっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものとする。
 - ・「工事工種の体系化」は https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/ を参照。
- (11) 農業水利ストック情報データの作成は、機能診断情報記入用Excelファイルによる入力のほか、登録情報データ外部入出力機能等を適宜使用することを基本とするが、作業方法、内容等について監督職員と十分協議を行った上作業を行うものとする。なお、作成した電子データは成果物に含むものとする。

（業務写真における黒板情報の電子化）

第3－4条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト（CRYPTREC 暗号リスト）」（URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」）に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

- (1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- (2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- (1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。
なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）
6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第5-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。
また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

- 初回 作業着手の段階
- 第2回 中間打合せ（現地調査段階）
- 第3回 中間打合せ（機能診断評価段階）
- 第4回 中間打合せ（機能保全計画の策定期階）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第6-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R等）正副 2部
- 2 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

第6-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

第6章 契約変更

(契約変更)

第7-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第2-3条に示す「対象施設」に変更が生じた場合。
- (3) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (4) 第5-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (5) 第6-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (6) 履行期間の変更が生じた場合。
- (7) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (8) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第8-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】調査対象施設一覧表

施設名称・ 対象構造物	施 設 概 要	備 考
幹線水路		
管水路	鋼管 $\phi 1100\text{mm} \sim 700\text{mm}$ L=12.13km P C 管 $\phi 1100\text{mm} \sim 1000\text{mm}$ L= 1.68km 【延長合計 L=13.81km】	
空気弁	R C 構造保護工 43 箇所 マンホール保護工 1 箇所 R C 構造+マンホール保護工 6 箇所 空気弁 $\phi 150\text{mm}$ 61 箇所 空気弁 $\phi 75\text{mm}$ 1 箇所 空気弁 $\phi 25\text{mm}$ 2 箇所 空気弁 (スタンド式) 2 箇所	
排泥工	R C 構造保護工 13 箇所 マンホール保護工 6 箇所 R C 構造+マンホール保護工 1 箇所 仕切弁 $\phi 400\text{mm}$ 18 箇所 $\phi 350\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 300\text{mm}$ 3 箇所 $\phi 150\text{mm}$ 2 箇所 $\phi 100\text{mm}$ 1 箇所	
制水弁工	R C 構造保護工 9 箇所 マンホール保護工 8 箇所 R C 構造+マンホール保護工 2 箇所 バタフライ弁 $\phi 1100\text{mm}$ 3 箇所 $\phi 1000\text{mm}$ 4 箇所 $\phi 900\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 600\text{mm}$ 1 箇所 仕切弁 $\phi 1100\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 400\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 350\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 300\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 250\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 200\text{mm}$ 12 箇所 $\phi 150\text{mm}$ 1 箇所 $\phi 100\text{mm}$ 3 箇所	

流量計工	流量計室 (R C構造) 流量計	2箇所 2箇所	
水管橋	水管橋 ϕ 1100mm ϕ 1000mm ϕ 900mm	5橋 4橋 1橋	
原大利調圧水槽	調圧水槽 (R C構造) 制水弁室 (R C構造+マンホール) 仕切弁 ϕ 700 ディスクバルブ ϕ 600 角形ゲート 900×900 円形ゲート ϕ 1100 ϕ 700 ϕ 200	1箇所 1箇所 2箇所 2箇所 2箇所 1箇所 1箇所 2箇所	

【別紙2】現地調査作業項目内訳表

作業項目	作業内容	数量
1. 現地踏査	事前調査で得られた情報を参考に、目視により変状の有無や変状箇所の特定を行い、踏査結果を整理する。踏査結果を踏まえ、現地調査位置、漏水量調査区間を検討、選定する。	L=13.81km
2. 漏水量調査(保圧試験)	調査実施区間を制水弁で締め切り、圧力計及び自記式記録装置により管内圧力(静水圧)の推移を計測し結果を整理する。圧力計は、締め切り区間の低位部に近い空気弁に2箇所設置する。	2箇所
3. 概略診断調査 【バルブ類】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。	123箇所
4. 概略診断調査 【水管橋】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断及び簡易計測器測定値等から設備の状態、機能を確認する。	10箇所
5. 概略診断調査 【小型ゲート】	事前調査、現地踏査により得られた情報を基に、目視、触覚、聴覚等の五感による判断等から設備の状態、機能を確認する。	6箇所
6. 管内調査 【PC管部】	管内状況の目視及び継手間隔計測等にて、管内面のひび割れ等の変状を定量的に把握・整理する。(1区間)	100m
7. 管外面調査 【PC管部】	試掘調査箇所において、管外面のひび割れ等の変状を定量的に把握・整理する。また、カバーコートモルタルのはつりを行い、中性化の進行状況及びPC鋼線の状況を調査する。	1箇所
8. 試掘	7. 管外面調査のため、試掘を行う。 試掘の規模はB2.33×H3.55×L4.00m程度とする。	1箇所
9. 近接目視(点的構造物) 【付帯施設(弁室、調圧水槽、水管橋下部工)】	目視や簡易な器具による計測等の調査を行い、変状等を定量的に把握(ひび割れ・欠損・変形等計測、周辺観察等を含む)するとともに、スケッチを作成する。	1式 (2,236m ²)
10. コンクリート強度推定調査 【付帯施設(弁室、調圧水槽、水管橋下部工)】	リバウンドハンマーによりコンクリート表面を打撃し、反発度を測定することで強度を推定する。	7測点
11. 中性化深さ調査 (ドリル法) 【付帯施設(弁室、調圧水槽、水管橋下部工)】	コンクリートドリルにより削孔し、その削粉を用いて中性化深さを測定する。(NDIS 3419)	7箇所

【別紙3】機能診断作業項目内訳表（線的構造物）

作業項目	作業内容	数量
1. 業務準備	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、業務実施計画書策定のために必要な現地調査を行う。	1式
2. 事前調査 2-1. 資料調査	施設完成時の設計図書及び施設管理記録、地域特性に係る資料等を収集・整理し診断評価の基礎材料とする。	1式
2-2. 問診調査	施設管理者等から日常利用、操作等の不具合・変状個所・事故履歴・補修履歴等について聞き取り調査を行い、施設機能に関する課題、問題点を把握・整理する。	1式
3. 施設機能の検討	資料調査及び問診調査を基に、安全性、水利的な機能及び環境面からの要求機能について整理し、診断の重点を設定するほか、要求機能を満足するための要求性能を設定する。	1式
4. 施設の影響度評価	事前調査及び現地踏査結果を基に、施設の影響度を評価する。	1式
5. 性能低下要因の推定	事前調査及び現地踏査結果を基に、性能低下の推定を行う。また、環境（水質又は周辺環境）条件による性能低下の可能性があるか推定する。	1式
6. 健全度評価	調査結果に基づき、調査単位毎に施設の健全度の判定を行う。	1式
7. 性能低下予測	性能低下要因推定結果、健全度判定結果等を踏まえ、現況施設の性能判定を行うとともに、性能管理指標を選定し、現地条件に適合する性能低下予測手法により、性能低下予測を行う。	1式
8. 管理水準の設定	性能低下予測の結果を基に、構造の安全率、施設の重要度及び経済性を踏まえ、各施設の管理水準を設定する。	1式
9. 機能保全対策の検討	施設別に現地状況に適合する対策工法を複数選定し、選定された対策工法・実施時期・実施範囲を組み合わせて対策シナリオを複数作成する。	1式
10. 機能保全コストの算定	対策シナリオ毎に機能保全コストを算定し、比較する。（コスト算定のために必要な数量計算、設計図面作成を含む。）	1式
11. 機能保全計画の策定	機能保全コストを最小とすることを基本とした上で、施設重要度を踏まえたリスクや、環境との調和、維持管理の容易さ等、多様な側面も総合的に検討し、機能保全計画を策定する。なお、状況監視等を継続する必要があると認められる施設については、経年変化状況把握などのための施設監視計画を作成する。また、作成にあたっては、「農業水利施設の機能保全の手引き（参考資料編）4. 施設監視計画に基づく施設監視の実施方法」によるものとする。	1式
12. 農業水利ストック情報データの入力及び登録	上記の作業において作成した資料により農業水利ストック情報データベースの入力及び登録を行う。	1式
13. 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

令和6年度国営造成水利施設ストックマネジメント推進事業
大野川上流地区幹線水路機能保全検討業務

図面目録

図面番号	図面名称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

位置図

